

ペッツファースト

保護犬譲渡活動レポート Vol. ④

保護犬と家族になる。





譲渡会だからできること

新たな取り組みとして、4～5頭の保護犬と一緒に出会える譲渡会を開催しました！
9月、10月の連休に武藏小山店と川崎店で実施し、合計12頭に里親さんが見つかりました。

柵のない空間で、 保護犬との距離が縮まる

譲渡会では、店舗フロアの一部を貸し切って、保護犬もお客様も自由に歩いて触れ合える環境にしました。じっと座って撫でられている子、ボール遊びが好きな子など、いろいろな一面が垣間見え、「保護犬との生活」をよりイメージしていただきやすくなりました。自由に触れ合えるため、保護犬とお客様の距離も自然と縮まります。人見知りがちな子もいますが、同じ空間で過ごすうちに、少しずつ心を開いて近づいてくれるのも、譲渡会ならでは。保護犬とお客様のベースで、コミュニケーションを楽しんでいただきました。



譲渡会だから伝わる、 保護犬の魅力

店舗の保護犬専用ブースにいるのは、1店舗につき1頭のみです。他との比較検討ができない一方で、「たくさんいる中から選ぶのは辛いから、1頭だけの方が考えやすい」「何度も通って検討できる」など、他と比べないメリットもあります。一方譲渡会では、犬種も性格も年齢も違う4～5頭の保護犬が一堂に会しました。それぞれの個性が際立ち、自然と違いを比べられるので、「自分にはどんな子が向いているのか」を検討いただきやすくなります。譲渡を促進するためのアプローチの一つとして、今後も譲渡会を計画していきます。

＼譲渡会でお迎え！／

里親さん Interview

HELLO!

鶴目 孝祐さん
未沙さん
壮祐くん

保護犬
ハローちゃん
ミニチュアシュナウザー♀
推定9歳

保護猫を飼うつもりが、 心惹かれたのは保護犬のハローだった

私

が実家にいた頃は、ヨークシャーテリア2頭と、猫1頭を飼っていました。知り合いから引き取ったり、カラスに襲われていた所を保護した子たちだったので、次も保護された子にしようと考えていました。一方、主人は犬の飼育経験がなく、実家では猫を飼っていました。共働きだけど、猫なら二人とも飼育経験があるので、「飼うなら保護猫だね」と話していたんです。ただ、あちこちの譲渡会を見て回っていたわけではなく、自然なタイミングで出会いがあればと考えていました。そんな折にたまたま立ち寄った譲渡会で出会ったのが、ハローでした。

元々テリア系が好きで、さらに昔飼っていたヨーキーの毛色に似ていたので、すぐ気になってしましました。主人も、同じホルモンの病気を抱えていたり、ぽっちやり気味な所も似ていたり(笑)、共通点があったので放っておけなかつたようです。壮祐は元々動物が好きなので、最初から打ち解けていました。

「必要なのは、ゆっくり休める居場所」 その言葉に背中を押され、お迎えを決意

—

番心に刺さったのは、何度も出産を経験してきたと分かるおっぱいでした。きっと辛い思いをしてきたのかなと感じて…。他の保護犬が会場を歩き回って過ごす中、一か所にじっと座っている寂しそうな姿を見て、猫派だった主人も連れて帰りました。年齢も病気も、気にならなかったです。

ただ、今まで「犬を飼う」ことをイメージしておらず、住まいは賃貸で共働きで…と即決はできなかったので、一度会場を出て家族会議することに。その時、接客してくれたスタッフさんに言われた言葉が、大きな後押しになりました。「この子に必要なのは、ゆっくり休める居場所です。もう推定9歳なので、子犬ほど手はかかるないし、散歩もそんなにたくさん行かなくても大丈夫です。今の境遇より悪い場所なんてないですよ」と言ってくださいり、8割は心を決めました。そして今後の段取りを話し合い、満場一致で里親としてお迎えしました。



力強くなってきた甘噛み。
愛情表現のバリエーションも
増えてきた

初めてお腹を出してくれた日。
まだ少し緊張してるかも？



食べない、飲まない、排泄をしない 最初の一週間は心配の連続

環 境の変化や緊張からか、初めの5日間は全く動かず、水もご飯も少量しか口にせず、排泄もほぼしませんでした。心配になつて動物病院でレントゲンを撮つてみると、すごい量が溜まつっていました。お散歩で刺激しようにも歩かないので、動物病院のワンちゃんと遊ばせてみると、やつと少し出してくれて一安心。その後は少しづつ食べる量が増え、排泄もでき、家のなかなら歩けるように。排泄したらいっぱい褒めて、我慢しなくていいと分かってもらえるようにしました。朝晩ケージから出ると排泄する習慣が付いてきたので、次はトイレシートの上でできるよう練習中です。

お通じが良くなるように、食事は野菜を茹でたものをドッグフードに混ぜています。特にサツマイモが好きみたいです。朝ごはんは主人が担当なので、帰宅後いつも翌日の分を切つて茹でて準備してくれています。最近は、休日の朝に主人がゆっくり寝ていると、甘噛みしてご飯を催促するくらい食欲旺盛になりました。



親戚と一緒に芦ノ湖へ
キャンプに。
土や芝生の上でも、
テコでも歩かなかつた
ハローちゃん



まだお散歩はちょっと苦手 少しづつ、いろいろな場所を開拓中

食 事と排泄の心配はなくなつたので、次の課題はお散歩です。家中を歩けようになってからも、首輪に鑑札を付けたら、金具が当たる音に驚いて震えて動けなくなったりと、音や環境の変化にはすごく敏感です。「自然がいっぱいの場所なら歩くかも」と思い、キャンプに連れて行ったのですが、初めての場所に緊張したのか、ダメでした。少しづつ慣らすうちに外も歩けるようになりましたが、近くを車が通つたり、電車の音がするとまだ立ち止まつてしまつます。譲渡会では他のワンちゃんと仲良くなっていたので、少しづつ行動範囲を広げて、ワンちゃんのお友達を作つてあげるのが目標ですね。

歩くのは苦手な分、お留守番は最初から上手でした。平日は朝から夕方までお留守番ですが、いたずらもせず待つて、帰つてくると膝に抱き着くように甘えてくれます。日が暮れて暗くなると怖いのか、帰宅すると吠えていたことがあるので、天気の悪い日は電気を付けて外出しています。



一緒に過ごす時間の分だけ、 本当のハローが見えてきた

初 初めてお腹を見てくれたのは、お迎えから2週間後ぐらいでした。便が出るようにお腹をさすつたら、そのままコロンとお腹を出してくれたんです。最近は、少しづつ素のやんちゃな性格も見せてくれるようになりました。皮膚の状態が悪かったので、主人が定期的に薬用シャンプーで洗つてますが、最初は大人しくシャンプーされていたのに、実はあまり好きじゃなかつたみたいで、最近はドタバタ抵抗するように。ボール遊びも実は好きだったようで、投げると夢中になつて追いかけます。尻尾もお尻もピンと上げて、飛び跳ねながら遊んでいるのを見ると、お地蔵さんのように固まって動かなかつた頃が嘘みたいです。

最近嬉しかったのは、あんなに物音に敏感だつたのに、ハローが寝ていて横を歩いてもビックッと起き上がつたりせず、そのまま寝ていてくれたことです。何気ない変化ですが、私たちを信頼しているのかなと、じんわり実感できた瞬間ですね。



ご主人はYoutubeで
シャンプーの方法を
勉強されたそう。
皮膚の状態はかなり改善！



家族が増えて、暮らしが変わる 一人ひとりにとって大切な存在に

ハ ハローが来て、「家族が増えた」という嬉しさを日々感じています。夫婦喧嘩をしそうになつても、ハローのご飯の時間になると、お互いに「ご飯の準備しなきゃ」と話題が変わつて、いつの間にか喧嘩を忘れることも。祐とは、保育園から帰つてくると喜んで遊んでいますが、しばらくするとお互い別々に過ごしており、つかず離れずの良い関係です。私たちがハローにかまつていると、祐がやきもちを焼いて割り込んで来ることはありますが(笑)。主人は帰りが遅いので、私も祐も先に寝てしまつてますが、ハローは起きてお迎えをしてくれるので、家に帰るのが楽しくなつたみたいです。「娘ができたみたい」と嬉しそうに話しています。

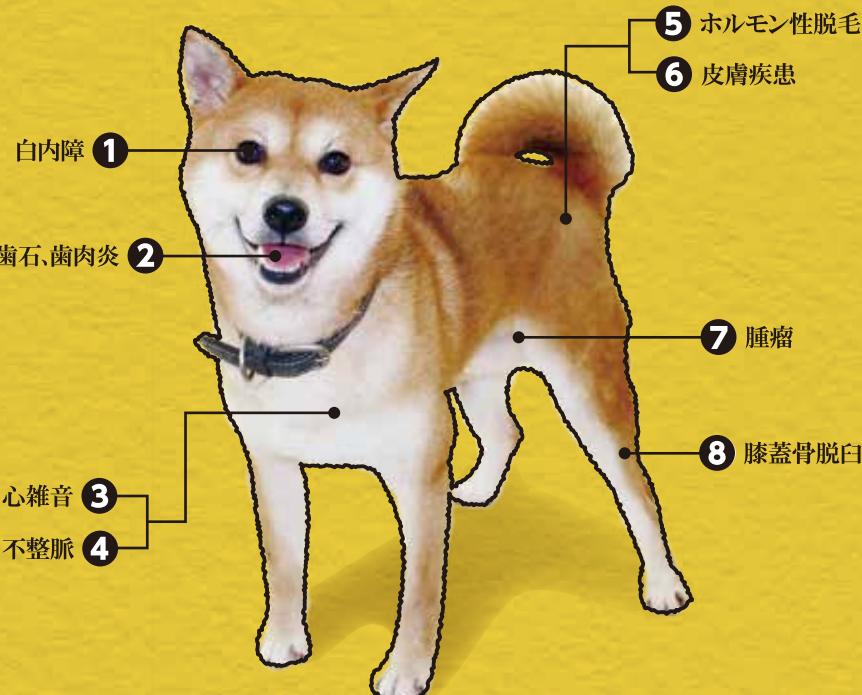
そして、ハローを迎えてから分かつたのですが、二人目の赤ちゃんを授かることができました。もし妊娠が先に分かつていたら、里親になる不安も大きかつたかもしれませんのが、きっとハローが連れて來てくれたんだと感じています。5人家族になる日を、家族みんなで楽しみにしています。

保護犬

ある
ある

症+状+例

保護犬の多くは、7歳以上のシニア犬です。過去の飼育環境や加齢の影響で、病気がある場合も多く、症状や進行度はさまざま。病気について理解し、治療やサポートをしてあげることが、保護犬との生活には欠かせません。保護犬で特によく見られる症状を紹介します。



1 白内障

高齢になると増える症状で、徐々に水晶体が白濁し、視力が衰えていきます。点眼などで進行を遅らせたり、手術での治療も可能ですが、犬は聴覚と嗅覚が発達しているので、視力が無くても、慣れた場所ならあまり問題なく生活できるケースもあります。暗い場所での移動や、障害物などに気を付けてあげましょう。

2 齒石、歯肉炎

人間と同じで、歯のケアを怠っていると歯石が付き、細菌が住み着きます。その細菌が毒素を出し、歯肉炎や歯周病、下顎リンパの腫れ、口臭などを引き起こします。歯石は非常に固いため、動物病院での歯石除去が必要です。しっかりと除去できたら、自宅で歯磨きやデンタルケアを行い、再び歯石が付かないように注意しましょう。

3 心雜音

心臓から聞こえる「ドックン」という心拍以外の音のこと、雑音の強さでレベル1~6に分類されます。高齢犬の場合は、原因として僧帽弁閉鎖不全症という心臓病が多く見られます。その場合は、レベルに合わせた投薬や、運動制限、食事管理、温度管理によって心臓の負担を減らし、進行を緩やかにする治療を行います。進行性の病気のため、定期的に受診して状態を確認しましょう。

4 不整脈

心拍のリズムが崩れている状態です。咳や息切れをする、元気がない、食欲不振などの症状がなく、日常生活に支障がなければ、経過観察で問題ない場合がほとんどです。しかし、心臓や呼吸器などの疾患や、ケガ、ストレスが影響している場合もあるので、原因を検査し、状態に合わせて大元の病気を治療しましょう。

5 ホルモン性脱毛

ホルモンの分泌に異常があると起こる症状で、左右対称の脱毛や、広範囲の薄毛、色素沈着などが特徴です。先住犬や人間への接触感染は起りません。皮膚に影響を与えるホルモンは複数あり、何らかの疾患や避妊去勢手術などが影響している場合もあるため、原因によって治療方法が変わります。

6 皮膚疾患

皮膚の汚れ、赤み、湿疹、フケなどの症状が見られます。正確な診断には皮膚検査が必要ですが、薬用シャンプーで継続的に洗浄し、状態によっては抗生剤を与え、体や生活環境を綺麗に保つことで、多くは改善していきます。



7 腫瘍

「しこり」のことで、良性と悪性があります。発生部位、成長速度、自壊の有無などで悪性の可能性は推測できますが、正確な診断には細胞の病理検査が必要です。状態によって、治療方法が変わります。



8 膝蓋骨脱臼

膝のお皿の骨がずれてしまう状態で、進行度によって1~4のグレードに分かれます。

グレード 1

手で脱臼させられるが、自力で正常な位置に戻る。

グレード 2

手で脱臼させたり、関節を曲げた時に自然に脱臼する。手で戻したり、関節を伸ばせば正常な位置に戻る。

グレード 3

常に脱臼した状態で、手で押し戻すまで戻らない。

グレード 4

常に脱臼した状態で、手で押し戻すことができない。

手術での治療も選択肢の一つですが、グレード1~2までは日常生活にあまり支障がないため、肥満に注意して筋肉を付けたり、段差を避けたり、フローリングにマットを敷くなど、膝への負担を減らすことで悪化を防げます。保護犬の場合、グレード3~4でも脱臼した状態に慣れている子もいるため、状態によって対応が変わります。

注意

保護犬によって、症状の程度や必要な治療は異なります。
お迎え後は、動物病院で詳しい検査を受けてください。

里親募集中の保護犬をCheck



公式ホームページ



「保護犬譲渡活動」のページでは、店舗にいる保護犬の情報を随時更新しています。現在の動画や写真を依頼できるほか、詳しい性格や症状などのご質問には、ウェブ専任スタッフが対応いたします。「お問い合わせ番号」か「保護犬の名前」を明記のうえ、メールフォームまたはお電話でお問い合わせください。



<http://pfirst.jp/Static/Rescue/>

公式facebook



保護犬の動画や写真、譲渡会の開催情報を投稿しています。新店情報や珍しい子犬子猫の写真、メディアでの紹介記事など、会社の最新ニュースも随時更新しています。



<https://www.facebook.com/pfirst>

保護犬専用ブース設置店（23店舗）

累計譲渡数

400頭



（2015年12月現在）

兵庫県

神戸三宮店

広島県

広島本通店

京都府

京都店

大阪府

心斎橋店

福岡県

福岡天神店

埼玉県

川越店

東京都

青山店

自由が丘店

広尾店

麻布十番店

吉祥寺店

町田店

武藏小山店

下北沢店

お台場店

世田谷経堂店

渋谷店

千葉県

流山おおたかの森店

ららぽーと TOKYO-BAY 店

カインズホーム千葉ニュータウン店

各店舗へのアクセスは、
公式ホームページの
「店舗検索」より
ご確認ください。

